2022年 7月号

科学館友の会通信

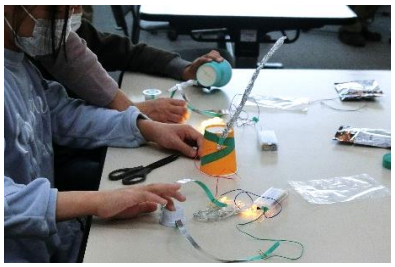
科学館友の会にご入会いただき，ありがとうございます。

友の会通信では，研修会の報告や科学館からのお知らせなど，さまざまな情報をお届けします。今月号は第１回から４回までの研修会の様子と，科学館特別展についてのお知らせです。

― 令和４年度　活動報告　Part Ⅰ ―

第１回研修会　４月１０日（日）「電波をつくろう」　参加者：１５名

今回は，科学工作教室「電波をつくろう！」を開催しました。講師は友の会役員の岩本正敏先生です。始めに電波について学びました。その後，アルミホイルや紙コップ，ラップなど身近にあるものを使い，電波を飛ばす装置を作りました。

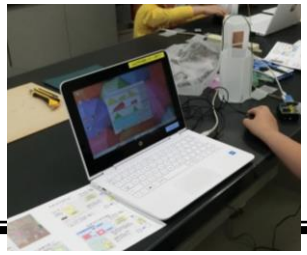


第２回研修会　５月１５日（日）「自然観察会～茂庭層の化石～」　参加者：１０名

太白区茂庭北赤石にて，「自然観察会～茂庭層の化石～」を開催しました。講師は前科学館職員の西城光洋先生です。始めに赤石橋上流で茂庭層の形成の歴史について学びました。その後，赤石橋下流にて化石採集を行いました。水量も少なく採集しやすい環境で，参加者の皆さんは時間ギリギリまで夢中になって採集に取り組みました。様々な貝やサメの歯などを採集することができました。

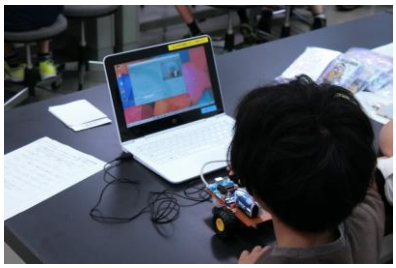
第３回研修会　６月１２日（日）「光のメッセージ　いろは姫」　参加者：１０名

LED の光をプログラミングでコントロールできる「いろは姫」を利用した工作を行いました。光の色や光る時間をコントロールするプログラミングだけでなく、マーブリングの模様を付けた紙で装飾するなど、それぞれ思い思いの形にしたりして、自分だけのインテリア飾りを完成させました。参加者のみなさんはとても熱心に取り組んで，素敵な作品をつくることができました。



第４回研修会６月１８日（土）「ロボット教室（初級）」　　参加者：　５名

第４回研修会は，「ロボット教室（初級）」を開催しました。午前中は，ロボット「梵天丸」の製作を楽しみました。午後からは作った「梵天丸」のプログラミングをしました。思い通りに動かすために，曲がる角度，走行時間などの調整を繰り返しました。ロボットの動きを制御する楽しさにふれることができました。



科学館から特別展のお知らせ

今年の夏は，特別展「くらべる図鑑展」を開催します。ぜひご来場ください！　　7/16（土）～8/21（日）

今回の特別展では，株式会社小学館発行の「くらべる図鑑」を題材とした，「くらべる図鑑展」を開催します。生物や自然の事物現象を多様な視点からくらべることができるように，実物大サイズの巨大タペストリーや模型，映像，AR を用いて紹介します。実際には比較することが難しい生物の体のつくりや運動能力，山の高さや惑星の大きさ等をくらべる体験を通して，新たな発見があるはずです。図鑑サイズから飛び出した展示を通して，子どもから大人まで科学を楽しく学べます。ぜひご来場ください

「くらべる図鑑展講演会」を科学館３Ｆエントランスにて開催

日時：7/30（土）　①11:00～11:40　②14：00～14:40

題名：「図鑑編集のお仕事～「くらべる図鑑」ができるまで～」

講師：小学館 第三児童学習局 図鑑 編集長　**廣野 篤**　氏

対象：講演会当日，特別展入館券を購入していただいた方

※講演会については，友の会会員優先席 11 席を確保しています！

【お申し込み方法】　　（一般席 42 席　立見も可）

往復ハガキ（往信 63 円，返信 63 円）で科学館宛に下記の内容を記入し，期限までにご応募ください。　**応募締切 7／20（水）必着**

①イベント名　②住所　③氏名　④電話番号　⑤会員番号　⑥学年

※参加希望者が定員を超えた場合，抽選となります。

◆開催期間：7/16（土）～8/21（日）

◆休 館 日：7/19（火）・7/25（月）・8/1（月）、8/8（月）

◆料　　金：一般・大学生 900 円，高校生 600 円，小・中学生 300 円

◎小・中学生はどこでもパスポート提示で無料。◎大人の方は友の会会員証の提示で半額。

◆会　　場：スリーエム仙台市科学館　２階特別展示室

◆そ の 他：新型コロナウイルス感染拡大等によっては，開催を中止させていただくこともございます。

会場に同時に入場できる人数を制限することもありますので，お待ちいただく場合がございます。

2023年 3月号

科学館友の会通信

友の会通信では、研修会の報告や科学館からのお知らせなど、さまざまな情報をお届けします。今回は第5回から8回までの研修会の様子と、今後の行事予定についてのお知らせです。

― 令和４年度　活動報告　PartⅡ ―

第5回研修会　１０月2日（日）「自然観察会～キノコを探して～」　参加者：11名

今回の研修は晴天に恵まれ，多くの会員の方々にご参加いただきました。講師は仙台キノコ同好会の木村栄一先生他同好会員2名です。今回は，太白山自然観察の森を会場に実施しました。まずは，駐車場から自然観察センターまでの道路脇で見られるキノコを観察しながら進みました。その後，自然観察の森内で見られたキノコについて，詳しく解説していただきながら散策することができました。猛毒のカエンタケも確認することができました。

第6回研修会　１１月１３日（日）「ドローンを使ったプログラミング教室」　参加者：6名

今回は，ドローンを使ったプログラミング教室を開催しました。講師は友の会役員の岩本正敏先生，科学館職員の日下孝先生です。始めにドローンやプログラミングについて学びました。その後，実際にプログラミングを行い，ドローンを飛ばしました。プログラミングに用いた言語は，小学校などのプログラミング学習でも用いられている「スクラッチ言語」を使いました。簡単なプログラミングから，より高度なプログラミングに挑戦し，楽しみながら学ぶことができたようです。基本を学んだ後は，ドローンの飛行をプログラミングで制御して輪くぐりをするより高度な課題に挑戦し，夢中になってプログラミングをしていました。最後に，講師の岩本先生から，ドローンやロボットについての講話がありました。近い将来，私たちの生活をより快適にするためのプログラミングやドローンの使用が，現実になってきていることに驚いている参加者の方もいました。

※続きは裏面で紹介いたします。

第7回研修会　1月15日（日）「化学実験～ビタミンCの不思議な反応～」　参加者：16名

今回はうがい薬を使って食品などに含まれるビタミンCの量を調べる実験を行いました。講師は元科学館職員の國井恵子先生と永沼孝敏先生です。実験1では，うがい薬（ヨウ素液）にビタミンC溶液を入れ色が消える様子を観察しました。実験2では，8種類の飲み物に含まれるビタミンCの濃さを調べました。5mLのうがい薬に1滴ずつ飲み物を入れ，何滴で色が消えたかを記録し，濃いものから順位をつけました。その際，講師の先生から実験は複数回行い，平均を求めることが研究には大切であり，自由研究にいかしてほしいとアドバイスがありました。最後に，ほうれん草のゆで汁に含まれるビタミンCの量を調べました。 実験3では，2種類の透明な溶液を混ぜ，しばらく置くと一瞬で青紫色に変化する様子（時計反応）を観察しました。みなさん，熱心に実験に取り組んでいました。

第8回研修会　2月18日（土）「冬の野鳥観察会」　参加者：12名

今回の冬の野鳥観察会は，天候にも恵まれ無事開催することができました。講師は日本野鳥の会宮城県支部の坂野恭子さんでした。始めに，坂野さんより，野鳥観察をする際の準備物や台原森林公園で観察できる野鳥の特徴などについて説明がありました。その後，野外に出て，双眼鏡の使い方を練習した後，野鳥観察を行いました。水辺や森林の中にいる野鳥を講師の先生のアドバイスを参考に観察をすることができました。体が小さかったり，動きが俊敏であったりと，思うように観察することが難しかった場面もありましたが，野鳥の声に耳を傾けながら楽しむことができました。今回は14種類の野鳥と1種類の外来種を観察することができました。

●科学館友の会　今後の行事予定●

第2回役員会　令和5年3月11日（土）13：30～15：00　　科学館1階　市民の理科室

【友の会継続手続き開始】新年度の継続手続きを3月1日より開始いたします。新年度もご入会のほどよろしくお願いいたします。新年度の予定は随時科学館ホームページに掲載しますので，ご覧ください。